梅田だより

令和7年12月1日

12月号

NO. 633

茅ヶ崎市立梅田小学校　TEL85－1125

めざす児童像「 やさしく　かしこく　たくましく 」　校長　大久保仁晶

令和7年度全国学力・学習状況調査結果

４月１７日に６年生が実施した令和７年度全国学力・学習状況調査の本校の結果を分析しましたので、概要を報告させていただきます。

○国語の結果より

・情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解している
・書く内容の中心を明確にし、段落相互の関係に注意して、文章の構成を考えることができる
・図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる
・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見つけることができる
などで、全国平均を上回っていました。また無回答率も低かったです。

○算数の結果より

・問題解決のために必要な数量を見いだし、知りたい数量の大きさの求め方を記述できる
・『１０％増量』の意味を解釈し、『増量後の量』が『増量前の量』の何倍になっているかを表すことができる　　などで、全国平均を大きく上回っていました。また無回答率も低かったです。

○理科の結果より

・電気の回路の作り方について、実験の方法を発想し、表現することができる
・電流がつくる磁力について電磁石の強さは巻数によって変わることの知識が身についている
・発芽するために必要な条件について、実験の条件を制御した解決の方法を発想し、表現できる
・水の温まり方について、解決するための観察、実験の方法の適切さを検討し、表現できる
・水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に概念的に理解している
などで、全国平均を上回っていました。

一方、「レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見いだし、表現することができる」では、全国平均を下回っていました。

○児童質問紙の結果より【肯定的な回答の割合が高かったもの】

・自分には、よいところがある　　・先生は、あなたのよいところを認めてくれている
・人が困っているときは、進んで助けている　　・人の役に立つ人間になりたい
・いじめは、どんな理由があってもいけないことだ　　・友達関係に満足している
・地域や社会をよくするために何かしてみたい
・インターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができる
・５年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた
・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている
・授業や学校生活では、友だちや周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる　　・算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できている
・理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことがわかったのか考えている

自己肯定感の高さと５年生までの学習の積み重ねが感じられる回答が多かったのは、梅田小の伝統と言えます。なお、本調査により測定できるのは、あくまでも学力の特定の一部分であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことから、本校の取組の成果や課題のすべてを映し出しているものではありません。本調査結果により見えてきた成果や課題を参考に、一人一人の子どもの学習改善や望ましい生活習慣の確立につながる教育活動を進めていきたいと思います。

１１月の学校へ行こう週間では、突然の参観中止のお知らせ、申し訳ありませんでした。前日のお知らせにもかかわらず、保護者の皆さんが適切な対応を取っていただいたこと、本当にありがとうございました。